

## 一度は見ておきたい重要文化財シリーズ

京都の旅編  
その1



今回は「一度は見ておきたい重要文化財シリーズ」と題し、歴史的価値、学術的価値の高い石仏や石塔をご紹介します、その魅力に迫っていきます。

観光情報も添えていますので、ぜひ実際に足を運んでいただき、その雰囲気を感じ、目でゆしみ、心で歴史に触れてみてはいかがでしょうか？

### 石清水八幡宮五輪塔(京都府八幡市八幡高坊)

石清水八幡宮五輪塔は、高さが6m以上ある日本最大級の石塔です。大阪府境にも近い八幡市の、男山(おとこやま)頂上に鎮座する石清水八幡宮(いわしみず はちまんぐう)。その御旅所として知られる頓宮(とんぐう)から西側に200メートルほどの場所、京阪石清水八幡宮駅から南へ徒歩5分ほどのところにあります。



空

風

火

水

地

### 五輪塔とは

五輪塔は平安時代に誕生したといわれる墓石デザインです。上段から「空輪」「風輪」「火輪」「水輪」「地輪」と呼ばれる墓石があり、それぞれ自然の五大元素を評しています。

#### お墓のデザインはどんなものがある？

五輪塔の他、お墓のデザインに関する記事がございますので、ぜひご覧ください。



### 特徴

花崗岩(かこうがん)製で、塔高約6m、地輪幅約2.4m。日本最大級の石塔です。下から、基壇は一辺が約3.2mある反花座(かえりばなざ・蓮華の花が開き外側の花弁が反り返った様子が彫られた台座)。彫られた花弁は幅58cm

の広い単弁です。

地輪は一辺が約2.4mあり、数個の石材が組み合わされています。水輪は背が低く安定感のある球形、火輪は軒が厚く端へ向かう反りが力強く感じられます。風輪は深めの鉢型、空輪は美しい宝珠の形をしています。塔全体の均整と造詣の確かさが見てとれ、見事な石工の技を感じられます。

